## (6) 上久堅景観育成特定地区(地区全域)

上久堅景観育成特定地区(上久堅地区全域)に係る行為の制限は次のとおりとする。

## (●は適用を示す)

	行為の基準	田園地域	山地・高原
ア.	(ア)配置		
広告物等の	<ul><li>道路等からできるだけ後退させるよう努めること。</li></ul>	•	•
形態意匠	<ul><li>・ 河川等の水辺や山並みなどの眺望を阻害しないように努めること。</li><li>(イ) 意匠等</li></ul>		•
	・ 基調となる周辺景観に調和する意匠・形態とし、必要最小限の規模		
	とすること。		
	(ウ) 材 料		
	・ 周辺景観と調和し、耐久性に優れ、退色・はく離の生じにくいもの	•	•
	とすること。		
	・ 反射光のある素材は使用しないこと。	•	•
	(工) 色彩		
	【色 調】		
	<ul><li>けばけばしい色彩とせず、できるだけ落ち着いた色彩を基調とし、</li></ul>	•	
	周辺の田園や緑地の景観と調和した色調とすること。		
	・ けばけばしい色彩とせず、できるだけ落ち着いた色彩を基調とし、		•
	周辺の自然環境と調和した色調とすること。 【色相・色数】		
	<ul><li>使用する色数を少なくするよう努めること。</li></ul>		
	<ul><li>・ 地色の色数を3以下とすること。(全体の面積の10分の1以下の一</li></ul>	•	•
	の色(合計面積)を含まない)		
	【彩 度】(マンセル表色系による彩度)		
	・ 地色の彩度8以下	•	•
	【動光等】		
	・ 動光、点滅、ネオン、照度及び色相等の変化をするものその他これ	•	•
	らに類するものを避けること。		
1.	(ア)屋上広告物		
建築物又は	【本体の高さ】		
工作物を利用したため	建築物又は工作物よりの高さ3メートル以下 【建築物フは工作物の言さに対する】		
用した広告	【建築物又は工作物の高さに対する割合】		
物等の規模 等	<b>建築物又は工作物の高さの 10 分の 4 以下</b> 【その他】		
<del>1</del>	***		
	(イ)壁面広告物		

ウ. 地よる 等	【表示面積】 合計面積が広告物等を表示する壁面の面積の10分の2以下 (ウ) 袖看板 【下端の高さ】 道路から4.7メートル以上。ただし、歩道の場合にあっては2.5メートル以上 【壁面からの出幅】 壁面より1.5メートル以下 【道路上の出幅】 道路上の出幅1.0メートル以下 【その他】 建築物又は工作物の壁面の上端を越えないこと。 【高さ】 地上よりの高さ5メートル以下、自己用の広告物以外のものにあっては4メートル以下 【表示面積】 合計10平方メートル以下かつ一の広告物につき5平方メートル(一の広告物の最大見つけ面積による。以下同じ。)以下、自己用の広告物以外のものにあっては8平方メートル以下かつ一の広告物につき4平方メートル以下	•	•
エ. 広告物等の 面積	広告物等の面積は、30 平方メートル以下、自己用の広告物等以外の ものにあっては8平方メートル以下かつ一の広告物につき4平方メー トル以下	•	•
オ. 広告物等へ の外部から の照明等	<ul><li>(ア)周辺との調和</li><li>・ 照明を行う場合は、周辺の建築物、工作物及びその他の物件並びに 周辺自然景観との調和に留意すること。</li><li>(イ)動光等と照明時間</li></ul>	•	•
	<ul><li>広告物等を照明する場合は、白色光を原則とし、動光、点滅、照度の変化その他の変化をしないこと。</li><li>営業時間外は照明しないこと。</li></ul>	•	•